

## 最近シミが気になります。レーザー治療が効果的と聞きました。私も受けられますか？

回答：市立貝塚病院

形成外科副医長 進藤恵美医師



①シミといっても部位・色・濃さ・深さによってそれぞれ治療法が異なります。肝斑など一部の疾患は保険診療が可能ですが、大半のシミは病気ではないため自由診療でのレーザー治療となります。

ます。逆に皮膚の比較的深いところ(真皮層)にできるシミにはメラニン色素への吸収率が高く、周囲の正常組織へのダメージが少ないルビーレーザーが適しています。どちらのレーザーも照射するとそ

### シミの症状に適した

### レーザー治療方法を

現在、当院ではシミに対する治療法として、炭酸ガスレーザーとQスイッチルビーレーザーの2種類のレーザーが施行可能です。炭酸ガスレーザーは皮膚内の水分が吸収されるレーザー光で、皮膚表面にあるザラザラしたシミやホクロを蒸散させ

の部分に擦り傷やカサブタがで、その後1〜2週間程度で新しい皮膚が出来ます。しかし新しい皮膚は薄いため1カ月近くは赤みが残り、その後は色素沈着に移行することがあります(炎症後色素沈着)。これはいずれ消えますが、その時期に

同部位に刺激を与える色素沈着が長引いたり、消えずに残ってしまったりすることがあります。そのため炎症後色素沈着を最小限にするために、レーザー照射後の患部の保護や紫外線回避、保湿などのアフターケアが必要です。また薄いシミにレーザーを照射すると、逆に治るまでの色素沈着の方が目立つこともあります。

まずはどのような治療が適しているのか形成外科に一度ご相談下さい。

問 072-4222-5

865 市立貝塚病院

(貝塚市堀3-10-20)

<http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/>

